

National

エレクトロ・ミュージック・チャイム

WZ-245

取扱兼工事説明書

このたびは、ナショナルエレクトロ・ミュージック・チャイムをお求めいただき、まことにありがとうございました。
ご使用前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。



特 長

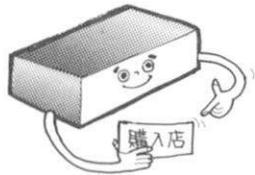
- 電子式ミュージックチャイムですので小型、軽量になっています。
- アンプの入力レベルに合わせて、チャイム出力が 0dB または -22dB に内部のスイッチで切換えられます。
- ハイパワーアンプ WA-730/730A シリーズと積重ねができるスタッキング構造になっています。
- 別売のラックアングル (WU-Q20) を取付けると EIA 規格ラックに 1H (44mm) のスペースでマウントできます。
- 音量、曲のテンポも調節することができます。

設置上のご注意

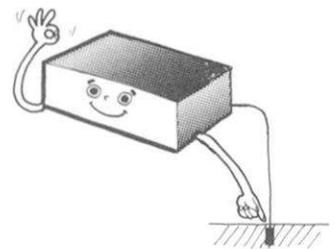
- 本機の設置場所は直射日光の当たるところや温風吹出口近くは避けてください。風通しの良いところに水平に設置してください。湿気、ホコリ、振動の多い場所で使用すると故障の原因になることがあります。



- 工事は販売店で機器の接続には工事が伴いますので、必ず販売店にご連絡ください。



- アースは必ず接続してください。アースを接続しないと発振したり機器が故障することがあります。なおガス管に接続することは危険ですから絶対にしないでください。



- ご使用いただく電源は AC 100V です。

使用上のご注意

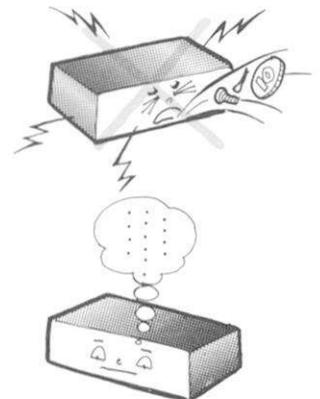
- 本機の清掃はケース外部の汚れは乾いた布で拭いてください。汚れがひどいときは水で布をしめらすか、石けん水を少し布につけてふき、あとはからぶきしてください。ベンジンやシンナーなどの溶剤を使用したり、化学ぞうきんでふいたり、殺虫剤をかけたりしますとケースが変形、変色することがありますから、絶対に使用しないでください。



- 水がかからないように危険ですからぬれた手で使用しないでください。また万一内部に水が入った場合はすぐに電源を切り、販売店にご連絡ください。



- 異物は感電や故障の原因になります。本機の内部に縫い針、ヘアピン、硬貨などの金属物が入ると感電や故障の原因になります。万一、金属物が入った場合はすぐに電源を切り、販売店にご連絡ください。



- 本機に異常があるときは使用中に突然、音が出なくなるなどの異常を生じたときはただちに電源を切り、販売店にご連絡ください。

- ご使用後は、必ず電源を切ってください。

前面の名称と働き

チャイムチェックスイッチ [チャイムチェック]

- チャイムが正常に動作するかどうかをチェックするとき使います。
(通常は、ゴムブッシングをかぶせてあります。)
- チェックをするときは、ゴムブッシングをはずし、プラスドライバー(φ5以内)または、シャープペンシルの先端などで中にあるスイッチを止まるまで押し込んでください。

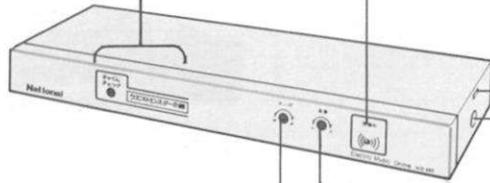
●曲目
ウエストミンスターの鐘

演奏中表示ランプ [演奏中]

- 外部起動がかかると点灯し、演奏終了8秒後に消えます。

スタッキングアングル取付部

- ハイパワーアンプ WA-730/730Aシリーズ等に固定するときに使います。(5ページ参照)



テンポ調節ボリューム [テンポ]

- 曲の速さを変えるときに調節します。
- 調節するときは、ゴムブッシングをはずし、マイナスドライバー(刃巾4mm以下)で中にあるボリュームをまわし調節してください。
(時計方向へまわすと⇒速くなります。)
(反時計方向へまわすと⇒遅くなります。)



音量調節ボリューム [音量]

- チャイムの音量を調節するときに使います。
- 調節するときは、ゴムブッシングをはずし、マイナスドライバー(刃巾4mm以下)で中にあるボリュームをまわし調節してください。
(時計方向へまわすと ⇒音量が大きくなります。)
(反時計方向へまわすと ⇒音量が小さくなります。)

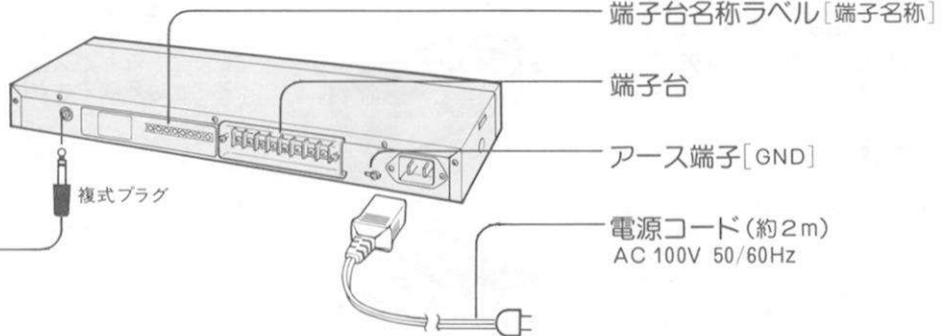


背面の名称

チャイム出力端子 [チャイム出力]

0dB 10kΩ

(内部スイッチにより -22dB に
切換えられます。
5ページ参照)



端子台名称ラベル [端子名称]

端子台

アース端子 [GND]

電源コード (約2m)
AC 100V 50/60Hz

複式プラグ

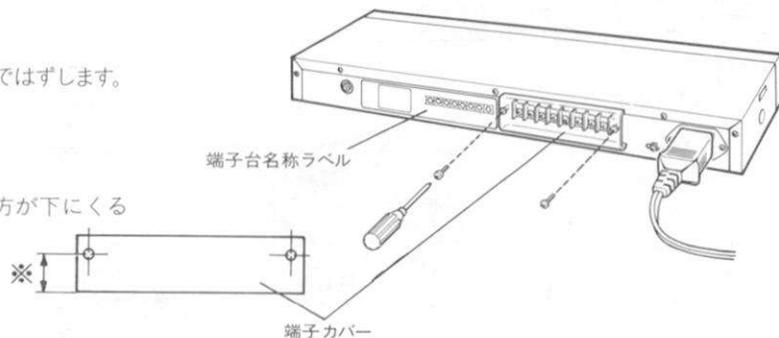
背面端子台について

■端子カバーのはずしかた

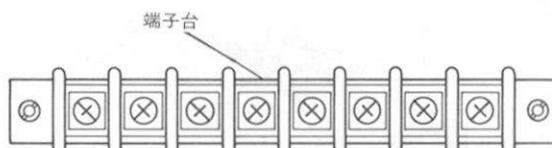
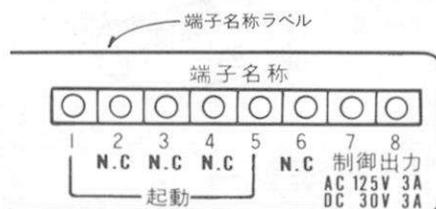
- 端子カバーを固定しているねじをプラスドライバーではずします。

ご注意

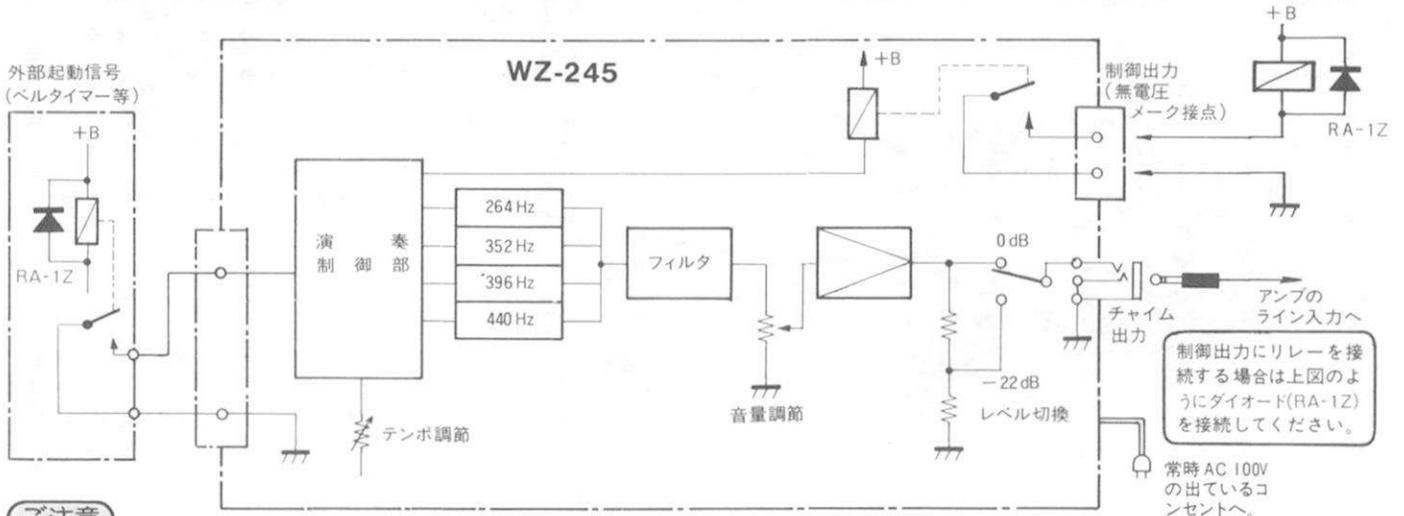
このカバーを取付けるときは、※印寸法の長い方が下にくるように取付けてください。



■端子台の名称



外部制御のしかた



ご注意

- 外部起動信号をリレーにより制御する場合は、必ずそのリレーにダイオード(RA-1Z)等を上図のように接続してください。
- WZ-245の電源は、常時 AC 100V の出ているコンセントへ接続してください。
- 外部起動信号は無電圧メーク接点にしてください。
- チャイム出力は、通常(出荷時) 0dB 出力になっています。

ハイパワーアンプとの接続

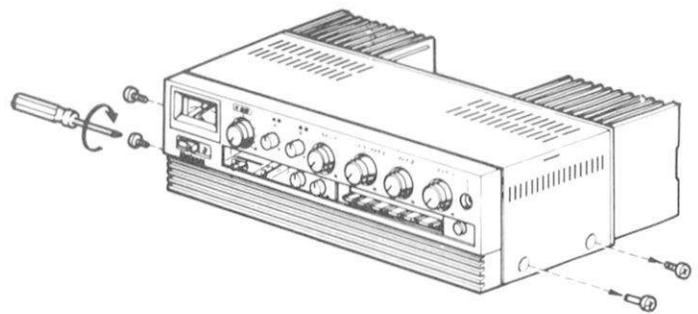
★WA-730/730Aシリーズは、入力があつたときに他の入力回路の音声等のレベルを下げる優先回路があります。(マイク1、ライン3に優先回路があります。ただし、ライン3を使うときは改造が必要です)
 WZ-245の入力を他の入力(レコード/マイク3、ライン1、ライン2およびFM/AMチューナ)に対して優先させたいときは、Aの方法、他の入力とミキシングしたいときはBの方法で接続してください。
 この他にマイク2、チャイム/ライン4の入力回路がありますが、この回路は上記優先回路とは無関係にミキシングされます。

A WZ-245を他の入力に対して優先させる場合(WR-910が必要です)

WA-730シリーズの場合

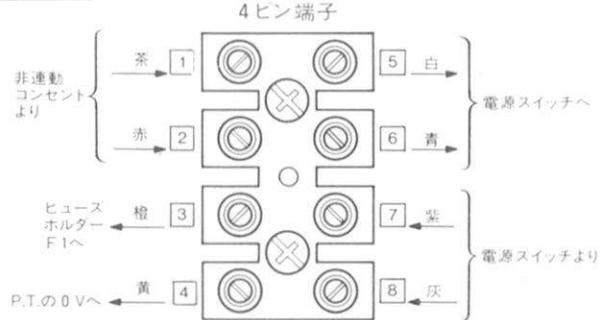
- アンプの電源制御と優先放送をリモコンマイク側からおこなうための改造です。
- 手順

1) 右図のようにカバー取付ねじ4本をはずします。

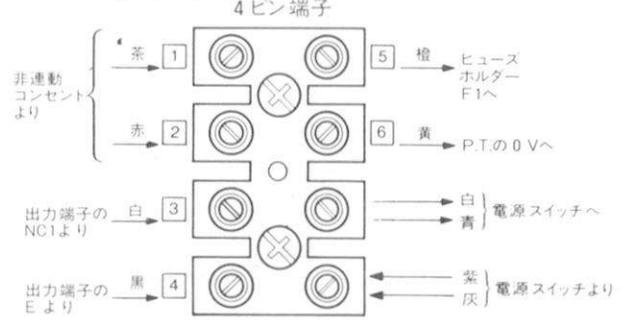


2) VU メータのうしろにある4ピン端子を下図のように改造します。

改造前



改造後

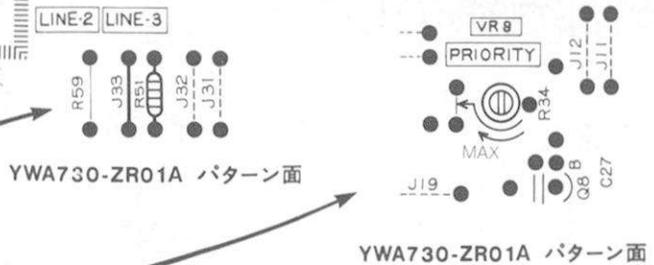
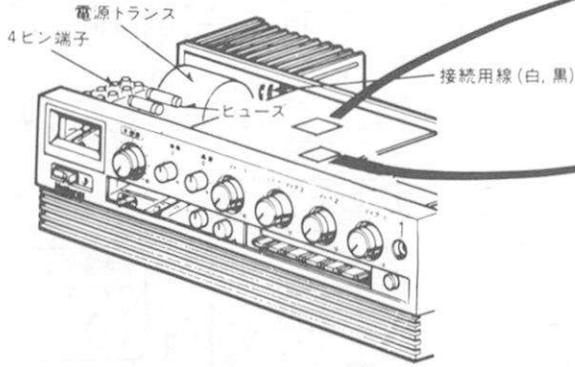


● 改造方法

- ① 7番に接続されている線を8番に移します。
- ② 5, 6番に接続されている線を7番にまとめて接続します。
- ③ 3, 4番に接続されている線を5番, 6番に移します。
- ④ 電源トランスの横に束線されている線(白, 黒)を3番, 4番に接続します。

3) ハイパワーアンプ本体のスピーカ接続端子の K2 とスピーカコモン間のジャンパー線ははずします。

4) リモコンマイク(ライン3に接続)を優先回路にするために、天面のプリント基板の調整、ジャンパー線の接続変更をします。



● 改造方法

基板(YWA730-ZR01A)のジャンパー線 J33, 抵抗 R51 を切り、J31, J32 にジャンパー線をはんだ付けします。
この接続により、リモコンマイクからの音声が入ったとき、ライン1, ライン2, レコード/マイク3, FM/AMチューナ(WA-735, 745, 755のみ)の音量が減衰します。減衰量はVR9(PRIORITY)により調整できます。矢印方向に回すと減衰量が増大します。

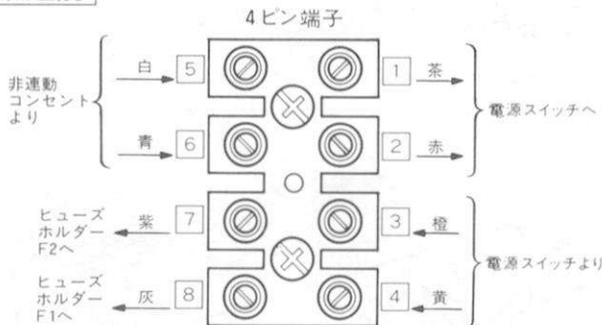
WA-730Aシリーズの場合

● アンプの電源制御と優先放送をリモコンマイク側からおこなうための改造です。

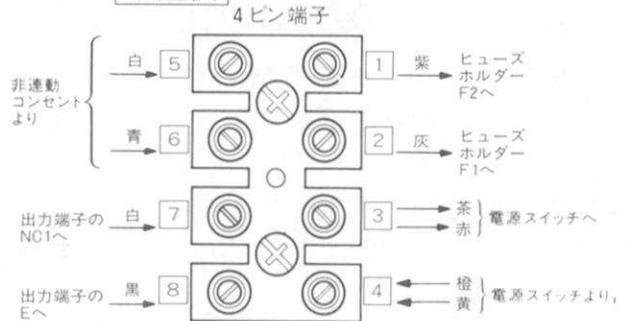
● 手順

- 1) カバーを取りはずします。(2ページの1)をご参照ください。]
- 2) VUメータのうしろにある4ピン端子を下図のように改造します。

改造前



改造後

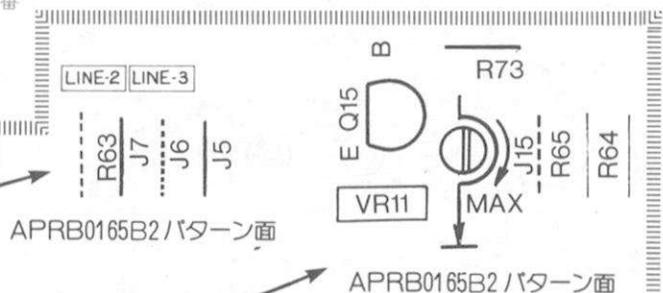
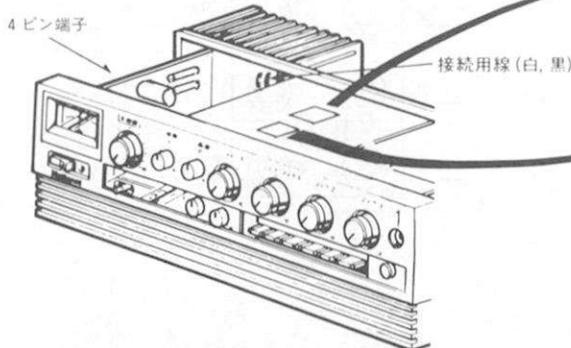


● 改造方法

- ① 3番に接続されている線を4番に移します。
- ② 1, 2番に接続されている線を3番にまとめて接続します。
- ③ 7, 8番に接続されている線を1番, 2番に移します。
- ④ 電源トランスの横に束線されている線(白, 黒)を7番, 8番に接続します。

3) ハイパワーアンプ本体のスピーカ接続端子の K2 とスピーカコモン間のジャンパー線ははずします。

4) リモコンマイク(ライン3に接続)を優先回路にするために、天面のプリント基板の調整、ジャンパー線の接続変更をします。

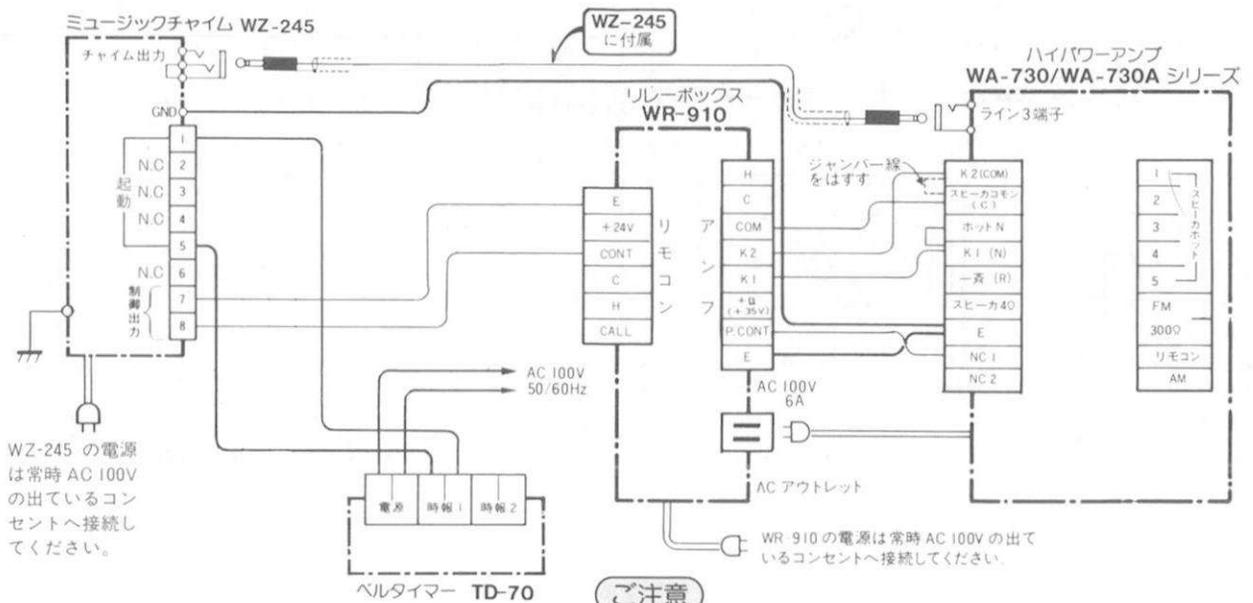


● 改造方法

基板(APRB0165B2)のジャンパー線J6, 抵抗R63を切り、J5, J7にジャンパー線をはんだ付けします。
この接続により、リモコンマイクからの音声が入ったとき、ライン1, ライン2, レコード/マイク3, FM/AMチューナ(WA-735A, 745A, 755Aのみ)の音量が減衰します。減衰量はVR11(PRIORITY)により調整できます。矢印方向に回すと減衰量が増大します。

WA-730/730Aシリーズ共通内容

※下記の接続図は本機(WZ-245)との接続のみを記載しています。その他の接続については省略しています。



B WZ-245を他の入力とミキシングする場合

WA-730シリーズ → A (WA-730シリーズの場合) の改造と (共通内容) の接続が必要です。

WA-730Aシリーズ → A (WA-730Aシリーズの場合) の改造と (共通内容) の接続が必要です。

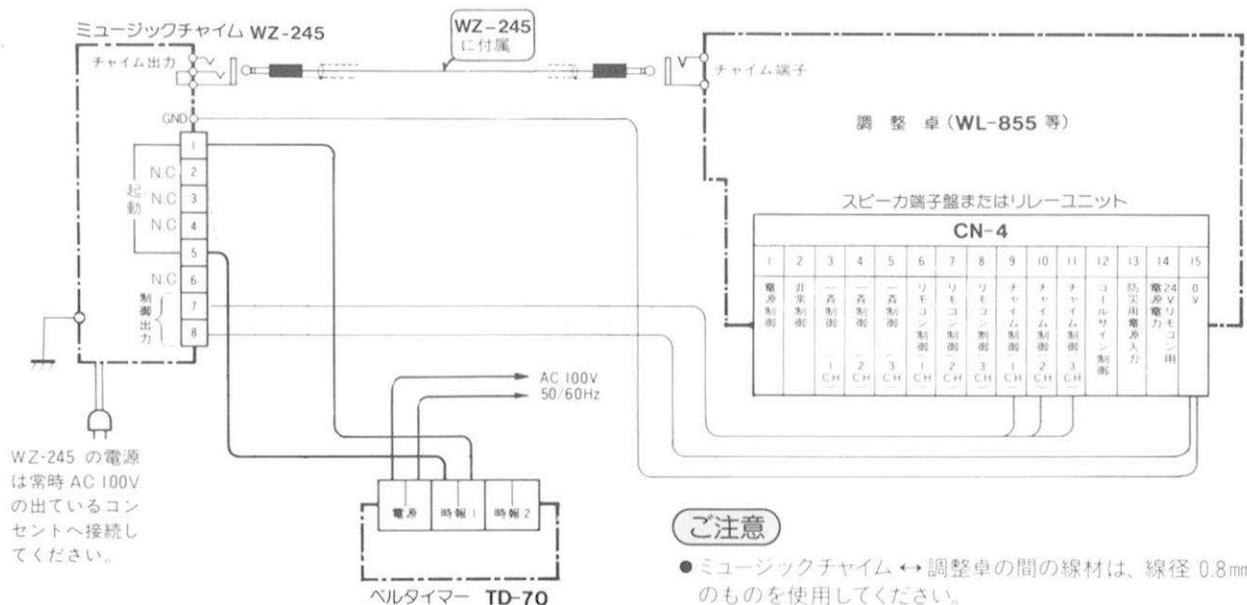
ただし、WA-730/730Aシリーズとも  部分は不要です。

ご注意

WA-730/730Aシリーズのチャイム/ライン4に接続するときは、5ページの「出力レベルの切換えかた」をお読みのうえ、出力レベルを-22dBに切換えてください。

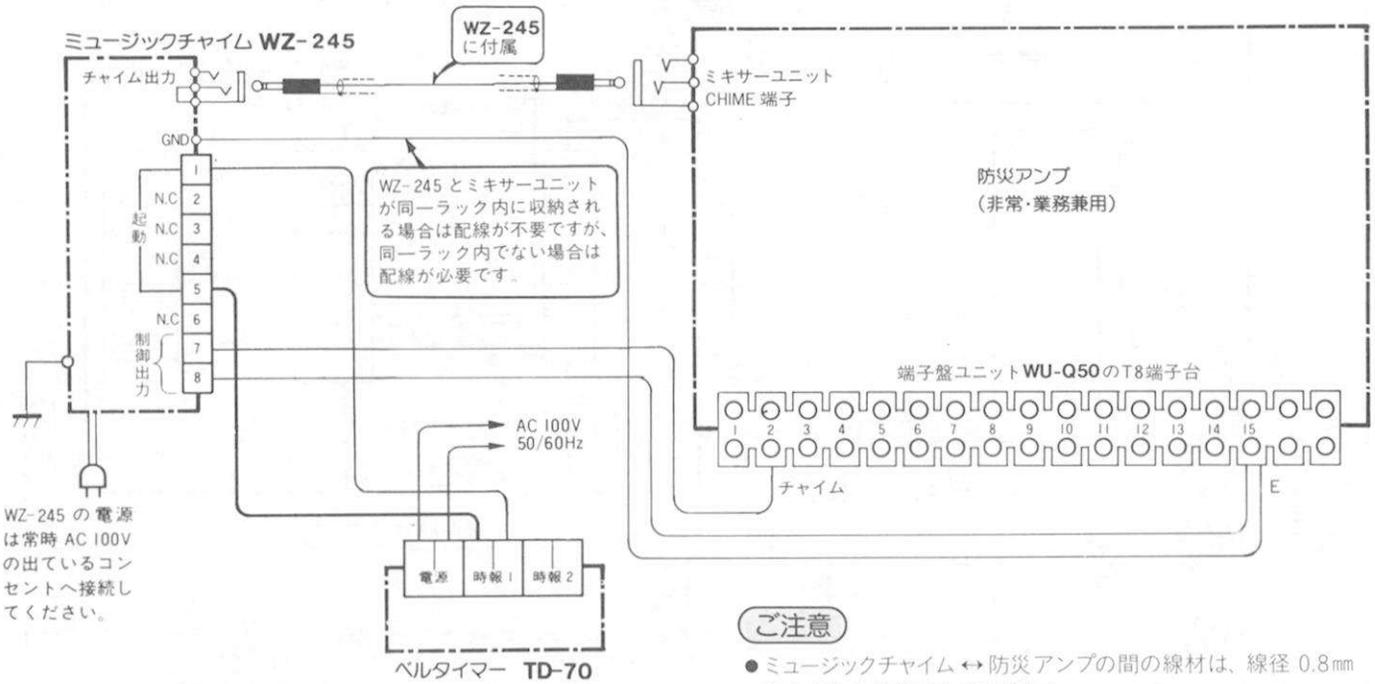
調整卓との接続 (調整卓の改造は、必要ありません。)

※下記の接続図は本機(WZ-245)との接続のみを記載しています。その他の接続については省略しています。



防災アンプ(非常・業務兼用)との接続 (防災アンプの改造は、必要ありません)

※下記の接続図は本機(WZ-245)との接続のみを記載しています。その他の接続については省略しています。

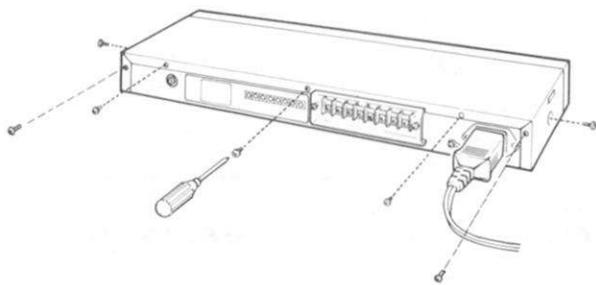


ご注意

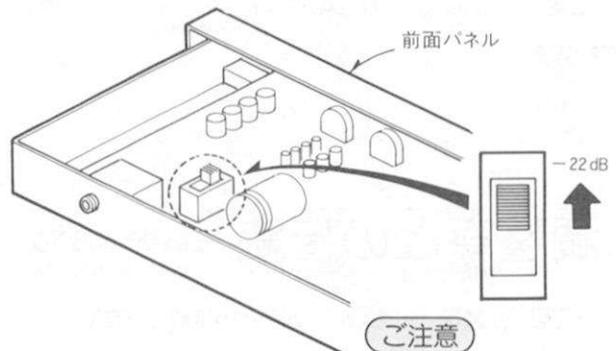
- ミュージックチャイム ↔ 防災アンプの間の線材は、線径 0.8mm 以上のものを使用してください。
- チャイムに起動をかけるときは、必ず曲が終了し“演奏中表示ランプ”が消えてから次の起動をしてください。

出力レベルの切換えかた

①カバー取付ねじをプラスドライバーではずします。



②チャイム出力端子の近くにあるレベル切換えスイッチを前面パネル方向に切換えると、-22dB 出力になります。



ご注意

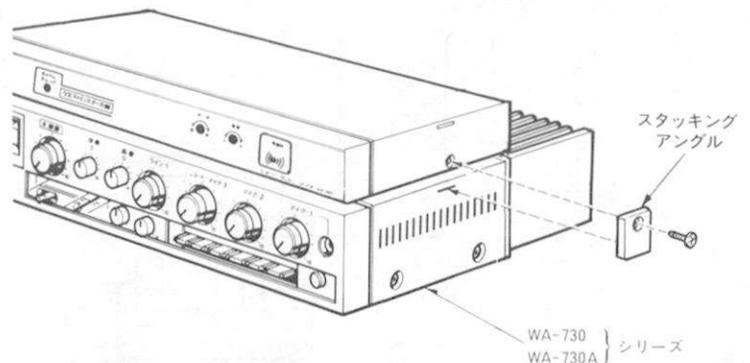
必ず、レベルを切換えてから電源コンセントに接続してください。

スタッキングについて (スタッキングアングルは、本機に付属しています)

■本機をハイパワーアンプ(WA-730/730Aシリーズ)等の上に乗せてお使いになるときは、付属のスタッキングアングルにより、本機とハイパワーアンプを固定してください。

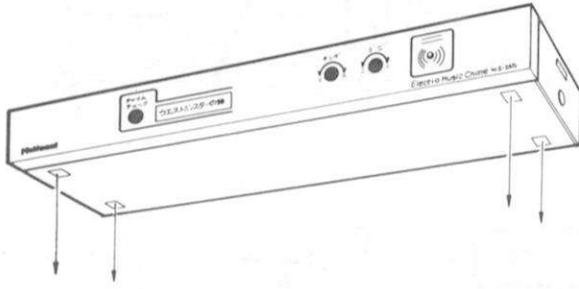
①本機両側面のねじ(M4×10)をはずします。

②本機をハイパワーアンプ(WA-730/730Aシリーズ)等の上に乗せスタッキングアングル(本機に付属)で固定します。

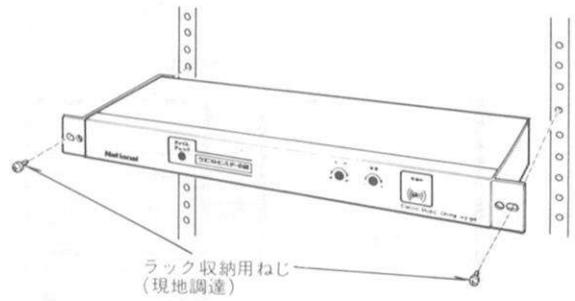


EIA ラックへの収納のしかた

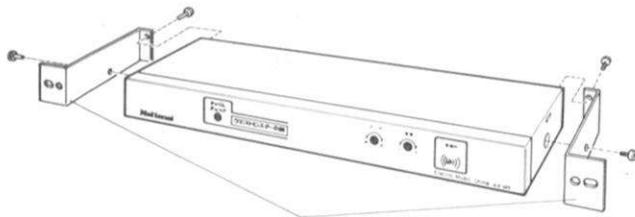
① 底面に接着してあるゴム足をラジオペンチ等ではがします。



③ 本機をラックに取付けます。(取付ねじは現地調達)



② 別売のラックアングル (WU-Q20) を本機両側面の取付ねじ (M4×10) と WU-Q20 に付属のねじ (M3×8) で取付けます。



別売ラックアングル(WU-Q20)

ご注意

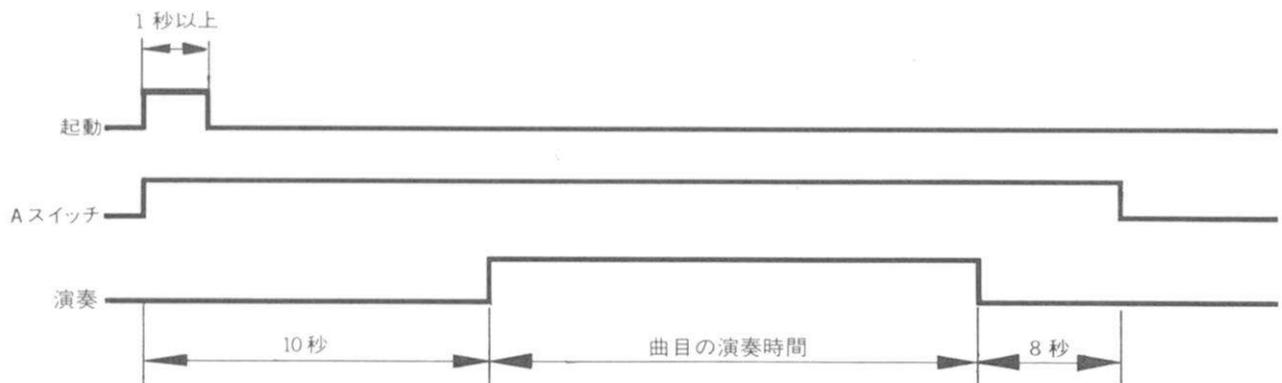
- ラック内の温度が+50°C以上になるときは、必ずファンユニット (WU-L45) を取付けてください。取付方法は、ファンユニットの説明書をご覧ください。
- 電力増幅器が同一ラック内に収納してある場合は、できるだけ離して収納してください。
- WZ-245 の電源は常時 AC 100V の出ているコンセントへ接続してください。

楽 譜

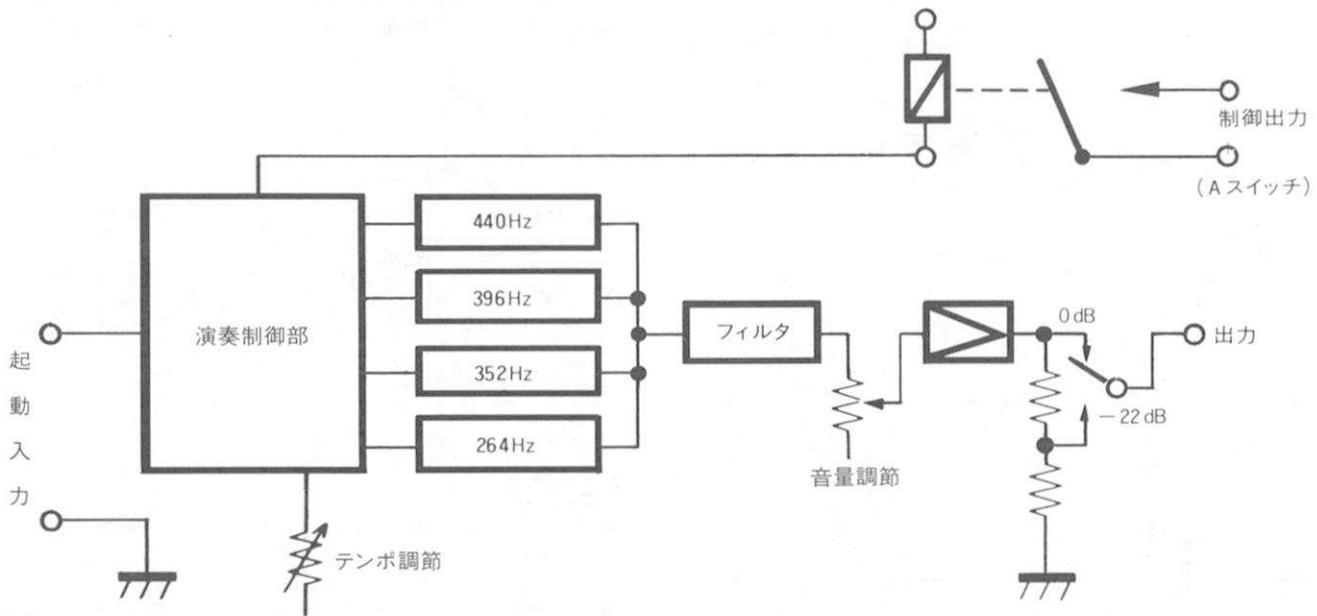
● ウェストミンスターの鐘



動作時間タイムチャート



ブロックダイアグラム



定格・付属品

● 定 格

電 源	AC 100V 50/60Hz	起 動 入 力	チャイムチェックスイッチまたは無電圧A接点 (接点容量 15V 40mA 以上必要)
消 費 電 力	約 5 W	起 動 パ ル ス	1秒以上演奏時間以下
演 奏 曲 目	ウェストミンスターの鐘 (約24秒)	寸 法	46(高さ)×420(幅)×175(奥行)mm
出 力	0dB 10kΩ (内部スイッチにより -22dB 10kΩ に 切換可能)	重 量	約 2.5kg
Aスイッチ容量	DC 30V 3A以下, AC 125V 3A以下	仕 上	パネル: SPCC (チャコールメタリック塗装) カバー: 塩ビ鋼板 (チャコールメタリック近似色)

注意: ラックに収納する場合はラックアングル(WU-Q20 別売)が必要です。

● 付属品

シールド線 (1.6m 複式プラグ ↔ 複式プラグ付).....	1	取扱兼工事説明書.....	1
AC電源ケーブル (2m).....	1	保証書.....	1
スタッキングアングル.....	2		

アフターサービスについて

1. 保証書 (別に添付してあります。)

保証書は、必ず「販売店名・購入日」等の記入を確かめて販売店から受取っていただき、内容をよくお読みの後大切に保管してください。

保証期間……ご購入日から1年間です。

2. 修理を依頼されるとき

取扱説明書をもう一度ご覧いただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お求めの販売点にご連絡ください。保証書の記載内容により、販売店が修理いたします。

● 保証期間中は

お求めの販売点にご連絡ください。保証書の規定に従って、販売店が修理致します。

連絡していただきたい内容

- ご住所・ご氏名・電話番号
- 製品名・品番・ご購入日
- 故障または異常の内容(できるだけ詳しく)
- 訪問ご希望日

● 保証期間が過ぎているときは

お求めの販売店に、まずご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理致します。

3. アフターサービスなどについて、おわかりにならないとき

お求めの販売店にお問い合わせください。

松下電器産業株式会社
松下通信工業株式会社 AVシステム事業部
〒224 横浜市都筑区佐江戸町600 ☎ (045) 932-1231 (大代表)